



第
272
回

第
273
回

日本
センチュリー

交響楽団



ピアノ: 高木 竜馬
Ryoma Takagi / Piano

指揮: 秋山 和慶
Kazuyoshi Akiyama / Conductor
©s.yamamoto



ピアノ: 務川 慧悟
Keigo Mukawa / Piano
©Yuji Ueno

指揮: 出口 大地
Daichi Deguchi / Conductor
©hiro.pberg_berlin

新シーズン開幕!
名匠・秋山との「英雄」近衛秀麿 編
グリーグ国際ピアノコンクール覇者・
高木竜馬が奏でる至高のモーツァルト

豊中出身の逸材・出口大地が
堂々定期デビュー!
務川慧悟による熱狂のプロコフィエフ



2023 4/20 (木) 19:00 開演
(18:00 開場)
ザ・シンフォニーホール

2023 5/26 (金) 19:00 開演
(18:00 開場)
ザ・シンフォニーホール

モーツァルト:
ピアノ協奏曲 第9番 変ホ長調 K. 271 「ジュノム」
W. A. Mozart: Concerto for Piano and Orchestra No. 9 in E-flat major, K. 271 "Jeunehomme"

ベートーヴェン(近衛秀麿 編曲):
交響曲 第3番 変ホ長調 作品55 「英雄」
L. v. Beethoven (Arr. Hidemaro Konoye): Symphony No.3 in E-flat major, Op. 55 "Eroica"

イベール:
デイヴェルティメント
J. Ibert: Divertissement pour orchestre de chambre

プロコフィエフ:
ピアノ協奏曲 第2番 短調 作品16
S. Prokofiev: Concerto for Piano and Orchestra No. 2 in G minor, Op.16

ドヴォルザーク:
交響曲 第6番 二長調 作品60 B. 112
A. Dvořák: Symphony No. 6 in D major, Op.60, B. 112

※当初の発表から出演者が変更になりました。

一般発売日 2023年1月16日(月)

送迎バス 学生年間パス 25
対象公演

一般発売日 2023年1月16日(月)

送迎バス 学生年間パス 25
対象公演

ご予約・お問合せ センチュリー・チケットサービス TEL. 06-6848-3311 (平日10:00~18:00)



日本センチュリー交響楽団 第272回・第273回定期演奏会

2023-24シーズンは、今をときめくピアニストたちとともに、華やかに開幕です。

第272回定期演奏会では、モーツァルトのピアノ協奏曲に、2018年グリーク国際ピアノコンクール覇者の高木竜馬が登場！国内外での多彩な活動の他、アニメ『ピアノの森』でのメインピアニスト役で大好評を博すなど、多方面で熱い注目を集めています。ベートーヴェン「英雄」は、今年没後50年、日本のオーケストラの礎を築いた近衛秀麿による編曲版をお届けいたします。名匠・秋山マエストロとの極上の音楽に、どうぞご期待ください！
第273回定期演奏会は、豊中市出身の気鋭マエストロ・出口大地がセンチュリー初登壇！2021年ハチャトゥリアン国際コンクール指揮部門で日本人初の第1位に輝き、昨年東京フィルとの日本デビューも大成功を収めました。プロコフィエフのピアノ協奏曲では、昨年の豊中名曲シリーズでの圧巻の演奏が記憶に新しいピアニスト・務川慧悟と今回再び共演が叶います。前半2作品の洗練された都会的な雰囲気と、自然をこよなく愛するドヴォルザークが創り出した壮大なシンフォニーの対比をお楽しみいただく豪華な一夜、是非会場でお楽しみください。

指揮：秋山 和慶 (日本センチュリー交響楽団 ミュージックアドバイザー)
Kazuyoshi Akiyama / Conductor



齋藤秀雄のもとで指揮法を修め、1963年に桐朋学園大学音楽学部を卒業。1964年2月に東京交響楽団を指揮してデビューのち同団の音楽監督・常任指揮者を40年間にわたり務める。トロント交響楽団の副指揮者、アメリカ響音楽監督、バンクーバー響音楽監督(現在桂冠指揮者)、シラキュース響音楽監督を歴任。フィラデルフィア管、ニューヨーク・フィル、ボストン響、クリーヴランド管、シカゴ響、ロイヤル・フィル、NDR北ドイツ放響、ケルンWDR放響、ベルリン放響、スイス・ロマン管、チューリッヒトーンハル管などに客演している。これまでにサントリー音楽賞、芸術選奨文部大臣賞、大阪府民劇場賞、大阪芸術賞、川崎市文化賞をはじめ、東京交響楽団とともに毎日芸術賞、京都音楽賞大賞、モービル音楽賞などを受賞。2001年紫綬褒章、2011年旭日小綬章を受章。2014年度文化功労者に選出。同年中国文化賞(広島)、徳島県表彰特別功労賞を受賞。2015年渡邊暁雄音楽基金特別賞を受賞。2014年指揮者生活50年を迎え、2015年2月には回録録「ところで、きょう指揮したのは？」(共著/アルテスパブリッシング刊)を出版した。現在、中部フィルハーモニー交響楽団芸術監督・首席指揮者、日本センチュリー交響楽団ミュージックアドバイザー、岡山フィルハーモニック管弦楽団ミュージックアドバイザー、東京交響楽団桂冠指揮者、広島交響楽団終身名誉指揮者、九州交響楽団桂冠指揮者など多くの任を務めるほか、洗足学園音楽大学芸術監督・特別教授、京都市立芸術大学客員教授を務めている。

ピアノ：高木 竜馬
Ryoma Takagi / Piano



2018年9月に第16回エドヴァルド・グリーク国際ピアノコンクールにて優勝及び聴衆賞を受賞し、一躍世界的に脚光を浴びる。他にも第26回ローマ国際ピアノコンクールなど、7つの国際コンクールで優勝。NHK総合テレビ『ピアノの森』では、雨宮修平メインピアニスト役で出演し大好評を博す。サントリーホール、大阪フェスティバルホール、みなとみらい大ホール、ミュゼ・ザ・シムフォニーホール、新国立劇場、紀尾井ホール、東京オペラシティコンサートホール、ウィーン楽友協会大ホール、ウィーンコンツェルトハウス、シェーンブルン宮殿、ミュンヘンガスタイク、エルブフィルハーモニー、モスクワクレムリン宮殿、モスクワ音楽院大ホール等々、著名なホールで演奏する。ウクライナ国立フィルハーモニー交響楽団、ウィーン室内管弦楽団、オスロフィルハーモニー管弦楽団、ベルゲンフィルハーモニー管弦楽団、トロンハイムソロイスツ、東京交響楽団、東京フィルハーモニー交響楽団等のオーケストラと、小林研一郎、尾高忠明、飯森範範、現田茂夫、アンドレア・パッティストーニ、シュテファン・ヴラダー、エドワード・ガードナー、エイヴィン・グルベルグニエンセン、ハンス・グラーフ等の指揮で共演するなど日本とウィーンを拠点に広範な演奏活動を行っている。(公財)江副記念リクルート財団 第35回奨学生。(株)イープラスとエージェント契約を締結。

指揮：出口 大地
Daichi Deguchi / Conductor



第17回ハチャトゥリアン国際コンクール指揮部門にて日本人初の優勝。クーセヴィツキー国際指揮者コンクール最高位及びオーケストラ特別賞。これまでコンツェルトハウス・ベルリン管弦楽団、アルメニア国立交響楽団、東京フィルハーモニー交響楽団などを指揮し、2022年7月東京フィルハーモニー交響楽団との定期演奏会にて日本デビュー。その後京都市交響楽団、読売日本交響楽団と立て続けに共演を果たし、今後も日本各地のオーケストラへのデビューが続々と決定している。2021年にはベルリン放送交響楽団の公演にてバイエルン州立歌劇場音楽監督ヴラデーミル・ユロフスキのアシスタントを務めた。オペラの分野においても2016年「ドン・ジョヴァンニ」を指揮。「フィガロの結婚」「愛の妙薬」「こうもり」「伯爵令嬢マリツァ」「蝶々夫人」など日本オペレッタ協会を始めとした様々なプロダクションで副指揮者を務める。大阪府豊中市生まれ。関西学院大学法学部卒業後、東京音楽大学作曲指揮専攻(指揮)卒業。2023年3月ハンス・アイスラー音楽大学ベルリンオーケストラ指揮科修士課程修了予定。幼少よりピアノ、15歳よりホルンを学ぶ。指揮を広上淳一、田代俊文、三河正典、下野竜也、クリスティアン・エーヴァルト、オペラ指揮をハンス・ディーター・パウムの各氏に師事。またネーメ、パーヴォ、クリスティアン・ヤルヴィ、ドナルド・ラニクルズ、ヨハネス・シュレフリ、井上道義、沼尻竜典各氏らのマスタークラスにオーディションを経て招待され、薫陶を受ける。

ピアノ：務川 慧悟
Keigo Mukawa / Piano



2021年世界三大コンクールの一つである、エリザベート王妃国際音楽コンクールにて第3位受賞。2019年にはフランスで最も権威のある、ロン＝ティボー＝クレスパン国際コンクールにて第2位受賞。長い歴史と伝統のある2つの国際コンクールの上位入賞で大きな注目を集め、現在、日本、ヨーロッパを拠点にソロ、室内楽と幅広く演奏活動を行っている。バロックから現代曲までレパートリーは幅広く、各時代、作曲家それぞれの様式美が追究された演奏、多彩な音色には定評がある。また現代ピアノのみならず、古楽器であるフォルテピアノでの奏法の研究にも取り組んでいる。フランス留学後研究を深めている作曲家の一人である、モーリス・ラヴェルの作品を取り上げた「ラヴェルのピアノ作品全曲演奏」をテーマにした全6回のリサイタルを2017年シャネル・ビグマリオン・デイズにおいて開催。東京藝術大学を経て、2014年バリ国立高等音楽院に審査員満場一致の首席で合格し渡仏。ピアノ科第3課程を修了、室内楽科第1課程修了。現在は国内外での演奏活動の傍ら、フォルテピアノ科に在籍し研鑽を積んでいる。これまでに、日本各地、フランス、ベルギー、スイス、ラトビア、ドイツ、イタリア、ポーランド、オランダ、中国、台湾、韓国にて演奏会を開催のほか、読売日本交響楽団、東京交響楽団、東京フィルハーモニー交響楽団、日本フィルハーモニー交響楽団、ブラハ・フィルハーモニア管弦楽団、フランスにてフランス国立管弦楽団、ロレーヌ国立管弦楽団、ベルギーにてベルギー国立管弦楽団、ブリュッセル・フィルハーモニー管弦楽団、等と共演。2022年、NOVA Recordより「ラヴェル:ピアノ作品全集」をリリース。Official Website <https://keigomukawa.com/>

管弦楽：日本センチュリー交響楽団 街に響く。心に届く。

Japan Century Symphony Orchestra / Orchestra

日本センチュリー交響楽団は1989年に活動を開始し、2019年に楽団創立30周年を迎えた。現在、飯森範範が首席指揮者、秋山和慶がミュージックアドバイザーを務め、2021年4月より久譲が首席客演指揮者に就任。ザ・シンフォニーホールで開催するシンフォニー定期演奏会、ハイドンの交響曲全曲演奏・録音プロジェクト「ハイドンマラソン」に加えて、豊中市立文化芸術センターでの名曲シリーズを展開する。オーケストラ体感コンサート「タッチ・ジ・オーケストラ」、ユースオーケストラの運営といった教育プログラム、「豊中まちなかクラシック」(豊中市)、「ルシオール街かどコンサート」(滋賀県守山市)等の地域連携事業にも力を入れている。オフィシャル・ホームページ <https://www.century-orchestra.jp/>



チケット取扱い

●各回
A席 6,500円 / B席 5,000円 / C席 3,500円 / D席 1,500円

○センチュリー・チケットサービス

TEL. 06-6848-3311 (平日10:00~18:00)

<https://www.century-orchestra.jp/ticket/> 日本センチュリー 検索



○ザ・シンフォニー・チケットセンター TEL.06-6453-2333 (11:00~16:00 火曜休)

○チケットぴあ <http://t.pia.jp/> Pコード: 232-816 (#272) / 232-817 (#273)

○e+ (イープラス) <https://eplus.jp/>

○ローソンチケット <https://l-tike.com/> Lコード: 53452 (#272) / 53589 (#273)

お得な シンフォニー個人定期会員 発売中!!	A席	B席	C席	U-35席
	1回あたり 5,000円	1回あたり 4,000円	1回あたり 2,500円	1回あたり 1,400円

●未就学児入場不可 ●やむを得ない事情により出演者・曲目等が変更になる可能性があります。予めご了承ください。

シンフォニー定期演奏会場 送迎バス運行中!

●区間: 大阪駅〜ザ・シンフォニーホール間の送迎 ●運行回数: 開演前と終演後 各2便ずつ ●乗車運賃: 一回100円 *定期会員様は無料でご利用いただけます。(U-35席除く)